

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年8月8日

上場会社名 株式会社Cominix 上場取引所 東
コード番号 3173 URL <https://www.cominix.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 柳川 修一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 取締役常務執行役員 (氏名) 林 祐介 (TEL) 06(7663)8208
管理本部長 兼 情報管理室長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,232	33.0	134	174.4	93	△5.5	30	17.0
2025年3月期第1四半期	6,944	△1.0	49	△61.9	98	△30.9	25	△63.1

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △128百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 236百万円(53.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	4.38	—
2025年3月期第1四半期	3.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	24,766	7,612	30.6
2025年3月期	25,830	7,848	30.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 7,590百万円 2025年3月期 7,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	15.00	—	18.00	33.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	15.00	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,900	41.7	478	99.1	460	44.3	284	72.0	41.35
通期	40,000	32.8	1,000	80.3	962	70.7	590	—	85.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 通期の親会社株主に帰属する当期純利益の対前年同期比増減率は1000%を超えるため「—」と記載しています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名)ー、除外 一社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	6,868,840株	2025年3月期	6,868,840株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,358株	2025年3月期	1,358株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	6,867,482株	2025年3月期1Q	6,868,505株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）におけるわが国経済は、円安の継続や物価の高止まり等の影響により個人消費は引き続き力強さを欠きましたが、旺盛な設備投資意欲や政府の各種支援策により緩やかな回復基調を維持いたしました。世界経済においては、欧米各国の金融引き締め長期化に伴う景気下押し圧力が続いております。さらに、ウクライナ情勢の長期化、中東地域の緊張、中国経済の減速懸念に加え、各国の金融・財政政策の影響により世界経済の先行きには依然として不透明感が残っております。

当社はこのような経営環境の下、新中長期経営計画ローリングプラン（FY76-FY80）の2年目として、「真の生産性向上に貢献する高度専門商社への変革」という中長期基本方針のもと、「持続的な成長」と「改革」の実現に向けた各種施策を引き続き推進いたしました。また、2024年12月にKamogawaグループを連結子会社化したことにより当第1四半期連結累計期間から当該グループを連結財務諸表に取込みをしたことに加え、売上総利益率が前年同期比で改善するなど施策の効果がみられたことから対前年同四半期比において増収増益基調となりました。しかしながら、引き続き賃上げの実施や教育訓練、働き方改革等への先行投資の影響や、のれんの償却、顧客関連資産償却による販売費及び一般管理費の増加、前年同四半期に比べ為替が円高基調となったことによる為替差損の計上により、利益を圧迫する要因となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は9,232百万円（前年同四半期比33.0%増）、営業利益は134百万円（前年同四半期比174.4%増）、経常利益は93百万円（前年同四半期比5.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

■ 切削工具事業

売上高は4,014百万円（前年同四半期比0.1%減）、セグメント利益は31百万円（前年同四半期は47百万円のセグメント損失）と減収増益となりました。

主な要因は、卸売部門においては国内外の製造業における設備投資需要の回復を背景に受注回復傾向となりましたが、直販部門において主要販売先である自動車業界での一部工場稼働低下等の影響を受け受注がマイナス基調となったことで収益が減少しました。一方で、利益面では粗利率の改善、販売費及び一般管理費の削減などに取り組んだことで増益となりました。

■ 耐摩工具事業

売上高は530百万円（前年同四半期比11.3%減）、セグメント利益は21百万円（前年同四半期比61.5%減）と減収減益となりました。

主な要因は、成長分野であるEV関連、特に車載電池・バッテリーを中心とした受注獲得への注力や新規の外注加工先との取組みは積極展開したものの、主要販売先である製缶業界の設備関連の案件減少に伴い受注がマイナス基調に推移したことで、収益・利益面ともに低調に推移いたしました。

■ 海外事業

売上高は1,823百万円（前年同四半期比6.7%増）、セグメント利益は12百万円（前年同四半期比53.1%減）と増収減益となりました。

主な要因は、成長市場であるインドや北米エリアの更なるマーケット開拓が順調に進んだことで売上は増収となりましたが、利益面では一部の子会社において粗利率が低下したことにより減益となりました。

なお、海外事業のセグメントに含まれていたCOMINIX RUS LLCは、重要性がなくなったことから当第1四半期連結会計期間より連結の範囲及び持分法適用の範囲から除外いたしました。

■ 光製品事業

売上高は273百万円（前年同四半期比23.8%減）、セグメント利益は26百万円（前年同四半期比17.0%増）と減収増益となりました。

主な要因は、主力のマシンビジョン関連ビジネスをはじめとしたLEDビジョンなどの映像関連ビジネスにおいて、既存顧客の他、国内市場の新規開拓に積極的に注力しましたが受注・売上ともに伸び悩みました。一方で、利益面では粗利率の改善などの施策に取り組んだことにより増益となりました。

■ eコマース事業

売上高は30百万円（前年同四半期比73.4%増）、セグメント損失は18百万円（前年同四半期は17百万円のセグメント損失）と増収減益となりました。

主な要因は、取り扱い商品の拡充や、小規模ユーザーへの直接営業の強化、販売店と連携した拡販施策等、業績拡大に向けての基盤づくりを積極的に展開したことで売上は増収となりました。一方で、利益面では更なる新規顧客等の取込みに向けた広告宣伝などに取り組んだことによる減益となりました。

■ Kamogawaものづくりソリューション事業（KMS事業）

売上高は2,339百万円、セグメント利益は25百万円となりました。

当該セグメントは、2024年12月にKamogawaグループのM&Aを実施したため、前連結会計年度より「Kamogawaものづくりソリューション事業セグメント」として、株式会社Kamogawa及びその子会社が営む切削工具・研削砥石などの生産財の販売の業績を反映しております。

主な要因は、ものづくり事業部における自社企画商品（脆性材加工向け電着工具など）の拡販を進めたこと、フィリピン・ベトナム両子会社において販売が堅調に推移したこと、粗利率の改善・販売費及び一般管理費の削減に取り組んだことで、収益・利益面ともに堅調に推移いたしました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（総資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて878百万円減少し、18,383百万円となりました。これは主に、現金及び預金300百万円、受取手形及び売掛金が509百万円、棚卸資産が167百万円減少した一方で、流動資産のその他が95百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて186百万円減少し、6,382百万円となりました。これは主に、有形固定資産が135百万円、無形固定資産が88百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,064百万円減少し、24,766百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて479百万円減少し、11,034百万円となりました。これは主に、短期借入金が200百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が383百万円、電子記録債務が107百万円、賞与引当金が115百万円、未払法人税等が93百万円、1年内返済予定の長期借入金が78百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて349百万円減少し、6,119百万円となりました。これは主に、長期借入金が308百万円減少したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて828百万円減少し、17,153百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて236百万円減少し、7,612百万円となりました。これは、利益剰余金が78百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益による増加30百万円、剰余金の配当による減少123百万円、連結除外による利益剰余金の増加14百万円）、為替換算調整勘定が203百万円、非支配株主持分が5百万円減少した一方、その他有価証券評価差額金が51百万円増加したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2025年5月15日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,823	4,523
受取手形及び売掛金	6,088	5,578
電子記録債権	998	989
棚卸資産	6,246	6,079
その他	1,183	1,278
貸倒引当金	△78	△64
流動資産合計	19,261	18,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	571	551
土地	536	460
使用権資産	165	141
その他（純額）	273	263
有形固定資産合計	1,546	1,416
無形固定資産		
のれん	933	880
顧客関連資産	1,566	1,535
その他	112	102
無形固定資産合計	2,612	2,518
投資その他の資産		
その他	2,449	2,504
貸倒引当金	△39	△56
投資その他の資産合計	2,410	2,448
固定資産合計	6,568	6,382
資産合計	25,830	24,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,157	2,774
電子記録債務	1,782	1,675
短期借入金	4,100	4,300
1年内返済予定の長期借入金	1,409	1,330
未払法人税等	185	92
賞与引当金	273	157
役員賞与引当金	24	8
その他	581	696
流動負債合計	11,513	11,034
固定負債		
長期借入金	4,835	4,526
役員退職慰労引当金	228	232
退職給付に係る負債	520	499
繰延税金負債	755	751
その他	128	108
固定負債合計	6,468	6,119
負債合計	17,982	17,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	350	350
資本剰余金	330	330
利益剰余金	6,428	6,349
自己株式	△1	△1
株主資本合計	7,107	7,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240	291
為替換算調整勘定	473	270
その他の包括利益累計額合計	713	562
非支配株主持分	27	21
純資産合計	7,848	7,612
負債純資産合計	25,830	24,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)
売上高	6,944	9,232
売上原価	5,389	7,184
売上総利益	1,554	2,047
販売費及び一般管理費	1,505	1,913
営業利益	49	134
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	4
為替差益	51	—
その他	10	28
営業外収益合計	66	34
営業外費用		
支払利息	12	31
為替差損	—	18
その他	4	25
営業外費用合計	16	75
経常利益	98	93
特別利益		
固定資産売却益	—	※ 1 24
特別利益合計	—	24
特別損失		
固定資産売却損	※ 2 5	—
特別損失合計	5	—
税金等調整前四半期純利益	92	117
法人税、住民税及び事業税	55	80
法人税等調整額	13	8
法人税等合計	69	89
四半期純利益	23	28
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△ 2	△ 1
親会社株主に帰属する四半期純利益	25	30

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	23	28
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123	51
為替換算調整勘定	89	△207
その他の包括利益合計	212	△156
四半期包括利益	236	△128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238	△121
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1 固定資産売却益の内容は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
建物及び構築物	一百万円	△10百万円
土地	一百万円	35百万円
計	一百万円	24百万円

※当第1四半期連結累計期間における当該売却益は、提出会社が所有する建物及び構築物、土地（名古屋支店）の売却によるものであります。同一物件の売却により発生した建物及び構築物の売却損と土地売却益は相殺して、連結損益計算書上では固定資産売却益として表示しております。

※2 固定資産売却損の内容は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
建物及び構築物	0百万円	一百万円
土地	5百万円	一百万円
計	5百万円	一百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第 1 四半期連結累計期間（自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	切削工具 事業	耐摩工具 事業	海外 事業	光製品 事業	eコマース 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	4,018	597	1,709	359	17	6,702	241	6,944	—	6,944
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	3	0	—	3	18	27	46	△46	—
計	4,030	601	1,709	359	21	6,721	268	6,990	△46	6,944
セグメント利益 又は損失 (△)	△47	56	27	22	△17	40	△8	32	16	49

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額16百万円は、セグメント間取引消去△1百万円、社内上各セグメントに配賦した調整額17百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第 1 四半期連結累計期間（自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	切削工具 事業	耐摩工具 事業	海外 事業	光製品 事業	eコマース 事業	KMS 事業 (注) 4	計				
売上高											
外部顧客への売上高	4,014	530	1,823	273	30	2,339	9,012	220	9,232	—	9,232
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	7	0	—	11	1	76	33	109	△109	—
計	4,070	537	1,823	273	42	2,340	9,088	253	9,342	△109	9,232
セグメント利益 又は損失 (△)	31	21	12	26	△18	25	99	22	122	12	134

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額12百万円は、セグメント間取引消去△ 3 百万円、社内上各セグメントに配賦した調整額15百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 KMS事業において、2024年12月に行われた株式会社KamogawaHDとの企業結合について、当第 1 四半期連結会計期間末時点で取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき、暫定的な会計処理を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれん及び顧客関連資産を除く。）及びのれんの償却額、顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	43百万円	49百万円
のれんの償却額	18百万円	53百万円
顧客関連資産償却額	一百万円	30百万円